

# 幼児教育長期派遣通信3学期号

発行 令和3年3月25日

三原市立大和小学校 柏原 真由美（派遣園：広島大学附属三原幼稚園）

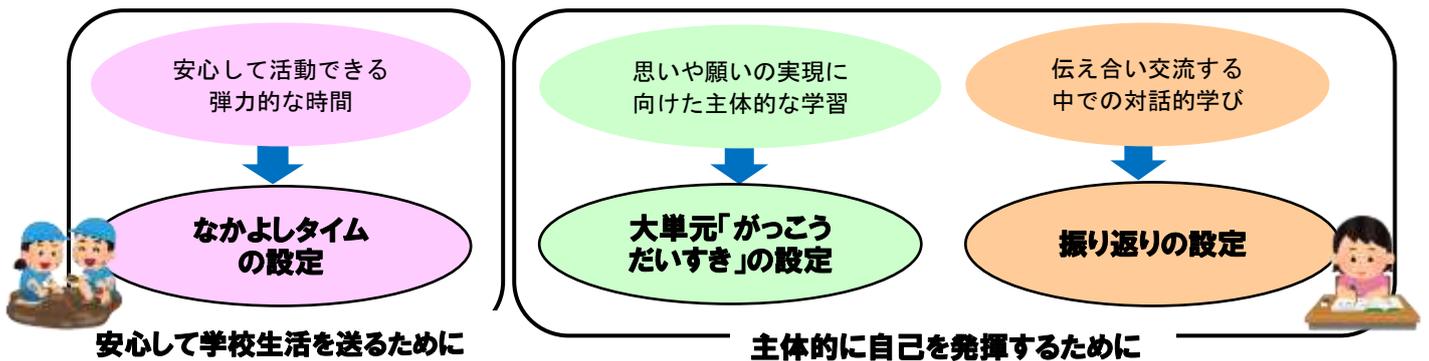
1, 2学期号では、教師の援助や環境構成の工夫により、園で子供たちが主体的に遊びを生み出す姿を通して、小学校において“安心して活動できる弾力的な時間”“思いや願いの実現に向けた主体的な学習”“伝え合い交流する中での対話的学び”を大切にしたいと考えました。

3学期号では、上記のことを生かし、幼児期の育ちと学びをつなげるためのスタートカリキュラムを改善するにあたり【安心】と【主体性】をキーワードに、3つの時間（なかよしタイム、大単元「がっこうだいすき」、振り返り）を設定したことについてお伝えします。

## 1 3学期の研修内容

- (1) 園内研修・・・幼小接続期部会（今年度の成果と課題）
- (2) 園外研修・・・「乳児保育における5つの力の育ち」を考える研修会（Zoom）・「育ちと学びをつなぐ幼保小接続・連携フォーラム」（Zoom）・所属校に入学してくる園児の実態把握・幼児教育長期派遣研修発表会・乳幼児教育保育シンポジウム（Zoom）

## 2 研修を通して



# 育ちと学びをつなげるスタートカリキュラム

### 安心

### 【なかよしタイムの設定】

《朝の遊び》  
教室の後ろや生活科ルームを活用し、登校して朝の支度が済んだ子から好きな遊びを選んで行う。

幼児期に親しんだ遊び（折り紙・カルタ・こま・空き箱などの廃材）を用意する。

※慣れてきたら少しずつ時間を短くしていく。

その後

《みんなとなかよくなりたいな》歌ったりゲームをしたり、絵本の読み聞かせをしたりして、クラスの友達との交流しながら、楽しく活動する。

グループで伝え合いの活動も設定する。

※遊びながら教科の学習につながる内容にしていく。

### 【週案】

	第9日	第10日
	4月19日（月）	4月20日（火）
行事等		
朝	朝の遊び～8:30～ ・あいまっ・元気朝へ。 ・今日は何するの（学習）	朝の遊び～8:30～ ・あいまっ・元気朝へ。 ・今日は何するの（学習）
1時	③（1/2）④（1/2） ⑤（1/2） 「みんなとなかよくなりたいな」 「らたっておどってなかよくなる」 「はんがたくさん」 歌や手遊びをする。絵本の読み聞かせをする。	③（1/2）④（1/2） ⑤（1/2） 「みんなとなかよくなりたいな」 「なかまづくりとかな」 「よるしくね」 歌を教ったゲームをする。自己紹介ゲームをして、伝え合う。

- ♥自分の好きな遊びを安心して行える場所を作る
- ♥友達とのかかわり合いが持てる活動を取り入れる
- ♥教師は笑顔で楽しい雰囲気づくりを心がける



朝の時間から1時間目を連続とした時間とし、生活科と他教科のモジュール学習を設定

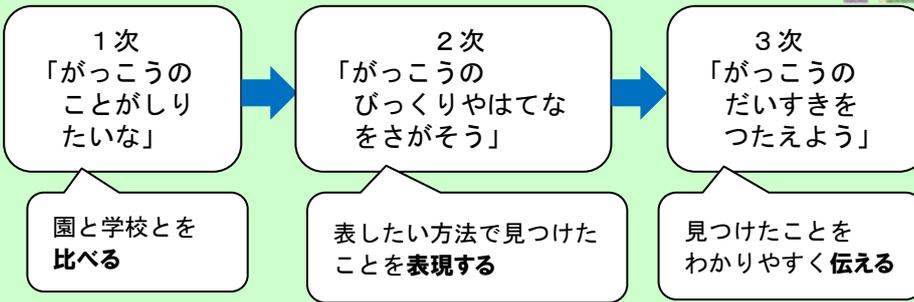
## 主体性

### 【大単元「がっこうだいすき」の設定】



#### 【週案】

3	①生(1/2) 園(1/2) 「がっこうのびっくり やはてなさがそう」 「あいうえおのことば さあつめよう」 探検を生かし、壁内をか いて文章の物を探す。	②生(1) 「がっこうのびっくり やはてなさがそう」 グループで探検し、びっ くりやはてなを見つ ける。
4	③生(1/2) 園(1/2) 「がっこうのびっくり やはてなさがそう」 「あいうえおのことば さあつめよう」 みつけたら文字の言葉 を、ひらがなで書いて 絵に貼しなす。	④生(1/2) 園(1/2) 「がっこうのびっくり やはてなさがそう」 「ひととつながること ば」 見つけた物と人につ いて絵や言葉で表し、伝 え合う。
5	☆園(1/2) 家(1/2) 「あいうえおのうた」 「はくまかんじとろう」 絵の家とまじりや口ずか し歌を付けて覚える。他 を感じて体を動かす。	☆家(1) 「うはいくつといくつ」 おはじきを用いて、うは いくつといくつに分け られるか考える。



- ◎自分で考え、行動できるように、園での経験を生かせる場を設定する
- ◎子供の思いや願いから学習が始まるよう、子供の意識の流れに沿った学習となるよう計画する
- ◎絵や写真などの視覚支援、ICTの活用、自発的な学びを促すような学習の足跡の掲示を行う
- ◎全職員に大単元設定の意図を説明し、共通理解を図る
- ◎教師は、子供のつぶやきを聞き取ったり、活動を見守ったりする

ねらいが効果的に達成できるように、生活科と他教科の内容を組み合わせ、合科的な学習を設定

## 主体性

### 【振り返りの設定】



～園での遊びの振り返りの様子～

- ☆次の学習につなげるために、毎日の学習の後に振り返りを行う
- ☆疑問や困り感が出た時を逃さず、話し合いの場を設定する
- ☆友達のよさに気付くことができるよう、「いいところ見つけ」をする機会をつくる
- ☆子供同士で顔がよく見え、話しやすいように、机や椅子の配置を工夫する
- ☆教師は、子供の考えた過程を大切に、次の活動へつなげるよう励ましたり、一緒に考えたりする

振り返りを積み上げることで、自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりできるようになっていった!

### 3 まとめ

これまで私は、入学した1年生は何もわからない存在だと思っており、「手取り足取り教える」ことが大切だと思っていましたが、園で、子供たちが、工夫しながら生き生きと遊びを生み出している姿を見て、1年生になっても、自分の思いを実現できる場所があれば、やりたいと思ったことを実現できる力を持っていることに気がきました。そして、やりたいことを選択して、自ら考え解決しようとするのが主体的な学習だとわかりました。

小学校1年生がゼロからのスタートではありません。幼児期に身に付けた力を発揮し、園での経験を生かすことのできる環境を工夫し、思いや願いを生かした学習を計画する必要があると思います。そして、教師は教え込むのではなく、子供たちの力を信じて見守り、一緒に考えていく存在でありたいと思います。これから、1年間の学びを生かしてスタートカリキュラムを実践していきます。

#### 〈乳幼児教育支援センターより〉

4月から新1年生が入学します。主体的な学びの基盤となる「～したい」という思いは、安心を感じられる環境の中で生まれます。1年生は乳幼児期の教育・保育でたくさんのことを学んでいます。「園・所ではどうだった?」と子供たちに聞いてみましょう。たくさんのヒントがあるはずですが、また、計画に基づいて実施しますが、子供の様子を見ながら柔軟に変更していくことも大切なポイントです。